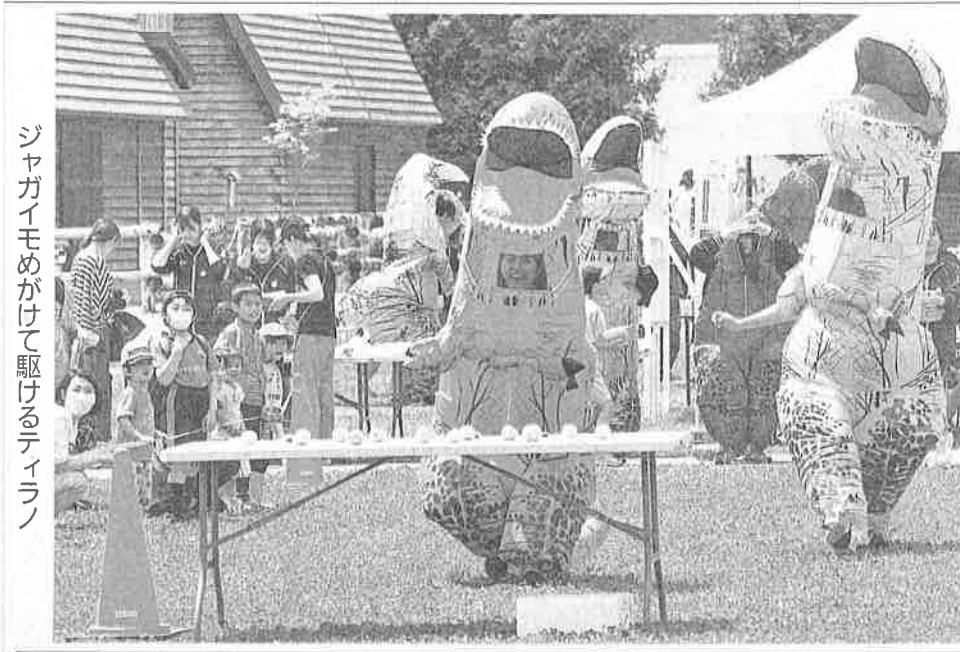


景品の肉求め「恐竜」が疾走

道の駅おとふけ ティラノレース

【音更】恐竜の着ぐるみを着て、スプーンに乗せたジャガイモを運ぶ「第1回



ジャガイモめがけて駆けるティラノ

ティラノサウルスレース in 十勝」が2日、音更町内の道の駅おとふけ（愛称・なつぞらのふる里）で開かれた。道内各地からティラノサウルス72体が集まり、景品の肉を求めて走った。幼獣（子ども）の部で優勝した音更町の目黒倫太郎さん（8）は、「楽しかった。勝ててうれしい」と笑顔で答えた。成獣（大人）オスの部で優勝した帯広市の金子正和さん（25）は、「母に誘われ出場した。暑い着ぐるみと暑いレースで、とても楽しかった」と、母の壱子さん（58）と喜びをかみしめた。

とかち子育て支援センター

ー（長岡行子代表理事）と、ちくたいKIP（山田共彦代表理事）が地域おこしの一環として実施した。長岡代表は、「雨を心配していたが晴れてよかった。他の町からも声が掛かっている」と言い、今後もティラノサウルスレースを通して十勝に楽しさを広げる考えだ。（柳田輝）